

9/21

認知症への理解を深め「人と地域」をつなぐ

ランとも
RUN伴

認知症になっても安心して暮らせる町を目指し、認知症の人や家族、支援者、地域住民がリレーをしながらタスキをつなぐ「RUN 伴 2019 氷見」が開催されました。

参加者はいきいき元気館から潮風ギャラリーなどを巡り、ゴールのひみ番屋街に向けて地元住民らの「がんばれ」という声援に応えるように力強い足取りで市内各地を歩きました。

この活動は全国各地で開催されており、氷見市での開催は5回目となります。当日は、氷見高校生の19人も応援に駆け付け、ゴールした参加者は笑顔で「楽しかった」「皆さんのおかげ」と語りました。



9/23

氷見市民健康大学祭

簡単な体力測定や血管、体組成をチェックしながら、子どもから大人まで、幅広い世代の方に、健康づくりへの関心を高める機会とすることを目的に、例年開催している「氷見市民健康大学祭」が、いきいき元気館で開催され、終日、多くの親子連れなどで賑わいました。

「運動」をテーマにした今年は、運動実践教室「親子ふれあい教室」が開催されました。参加した子どもたちの発達段階に応じた体の動かし方や親子で一緒にできる運動を分かりやすく教わり、楽しく運動しました。

また、おやこの料理教室も開催され、慎重に包丁を扱う子どもの様子をお母さんが横で見守りながら、豆腐クリームのグラタンパンなどを作りました。



9/25

市民11人がアイデアを発表

市では、人口減少対策および人口が減少したとしても市民が幸せに暮らせるまちづくりを進めるため、平成27年にまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、「安定した雇用の創出」や「新しい人の流れをつくる」などの4つの基本目標の実現に向けて各施策に取り組んでいます。

令和2年4月以降の第2期戦略を策定するため、市民49人が、雇用定住、女性・若者、食文化、農林水産をテーマに5つのワーキンググループに分かれ、議論し取りまとめた提案の成果発表会が開かれました。

高齢者のマンパワーの活用、町中を巡るパークゴルフ整備、全世代が集える大屋根施設整備、大都市圏と氷見をつなぐ関係店舗の拡充、給食コーディネーターの配置など、多様なアイデアが発表されました。

市では、これらの提案を施策として具体化できないか検討を進め、来年3月には、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定します。



9/25

食欲の秋！氷見の魚を親子で調理

親子お魚料理教室が創作工房ひみで開催され、市内小学生の親子が地元でとれたキトキトの魚介を使った料理教室に参加し、氷見の特産を五感で学びました。

キトキトごはん氷見の皆さんが「さばの味噌煮」など氷見産の食材にこだわった一汁二菜のお昼ご飯の調理を指導。子どもたちが自宅でも作れるように、さばは包丁とはさみを使って安全に楽しく料理ができるようポイントを説明しました。

その後、子どもたちを中心に調理がスタート。初めて触る魚に緊張しながら真剣な表情で料理を体験しました。参加した子どもたちからは「魚をさばくのが初めてで面白かった」保護者の方からは「子どもと楽しく学びました。また参加したい」という声が聞かれました。

9/28

**芸術の秋！音楽を楽しむ
ひみクラシックススペシャルコンサート**

アーバンサクソフォンカルテットのスペシャルコンサートがいいき元気館で開催され、サクソの四重奏の音色が約 150 人の観客を魅了しました。

これは、旧市民病院跡地に整備する新文化交流施設のオープンに向けて、市民の皆さんに音楽の楽しさや魅力を伝えるために企画し開催されたコンサートです。

当日は、2 部構成で演奏され、モーツァルトのフィガロの結婚より「序曲」で幕をあげ、1 部はしっとりとした音楽で観客を魅了。2 部では、アミューズメント・パーク組曲などが披露され、聞いたことのある曲目に観客は楽しそうに聴き入っていました。

また、26 日、27 日には宇波公民館や商工会議所など市内 4 カ所で体験型お届けコンサートが開催され、獅子舞の「お囃子」をアレンジした曲も披露されました。



9/29

風光明媚な氷見を満喫！まるごと氷見サイクリング

自転車市内を巡る「まるごと氷見サイクリング」が海浜植物園を発着点に開催され、32 人の参加者が、約 55 ㎞の海から山まで続く風光明媚な景色を満喫しました。

これは、氷見市から朝日町までの湾岸沿いの「富山湾岸サイクリングコース」が今年 3 月、石川県境まで延伸されたことを記念して企画されたものです。

参加者は、3 班に分かれ、午前 8 時にスタート。潮風を受けながら、漁業文化交流センターや小境海岸周辺などを通過し、県境で折り返すと、阿尾地区から山側にコースを変え、稲泉農園「カフェ・オーチャード」でフランス伝統のフルーツゼリーやクッキーでちょっと一息。

正午前にゴールした参加者は、海浜植物園内にあるカフェ「ボルカノ」で出来立てナポリタンを味わい、8 月に制作した「氷見サイクリングマップ」が配布されました。



9/29

中高生がゲームアプリやホームページの制作を体験

市内在住、在学の中学生 16 人と高校生 12 人が、教育文化センターで開催されたプログラミング体験会に参加しました。

これは、市が ICT 人材の育成を目指し、中高生にプログラミングを学ぶ機会を設けるために開催したものです。

この体験会は、9月に研修を受けた10人の市内外の学生、社会人を含む14人のメンターが、参加者を支援する形式で行われました。参加者は、iPhoneの時計やカウンターのアプリ、キャラクターが障害物を乗り越えるゲーム、オリジナルホームページの制作など、プログラミングの基礎について学び「始めは難しいと思ったが、やってみると楽しく、もっと時間があればと思った」と語ってくれました。



10/6

40回目を記念して 窪校区大運動会

窪小学校で第40回窪地区大運動会が開催され、長く続く運動会を記念して地域住民らが「40回」の人文字で節目をお祝いしました。

窪校区では、1980年から窪・柳田・園の3地区が合同で大運動会を行っており、これまでの感謝の気持ちと、これからも続く地域の絆を願って空に向かって笑顔で手を振り記念撮影を行いました。

また「パプリカ」の歌に合わせて海清・ひかり保育園の園児による元気いっぱいのダンスが披露され、会場の雰囲気盛り上げました。



10/15

氷見の幸を堪能してかれ～！ 氷見牛フェスタオープニングセレモニー

10月16日から11月3日まで開催中の氷見牛フェスタのオープニングセレモニーが「割烹 秀月」で開催され、参加店の特別メニューの試食会などが行われました。

今年で6回目となるこのフェスタは、氷見牛の生産者、販売者などからなる氷見牛ブランド促進協議会が、氷見牛のブランド確立と消費拡大につなげるため、開催している取り組みです。

南協議会長のあいさつや枝肉共進会の表彰式の後、氷見牛の握り寿司やしゃぶしゃぶ、ステーキなど全7店舗の特別メニューが紹介されました。

目でも楽しめ、食べてもおいしい氷見牛。皆さんも各店舗の自慢の味を、堪能してみたいはかが？

